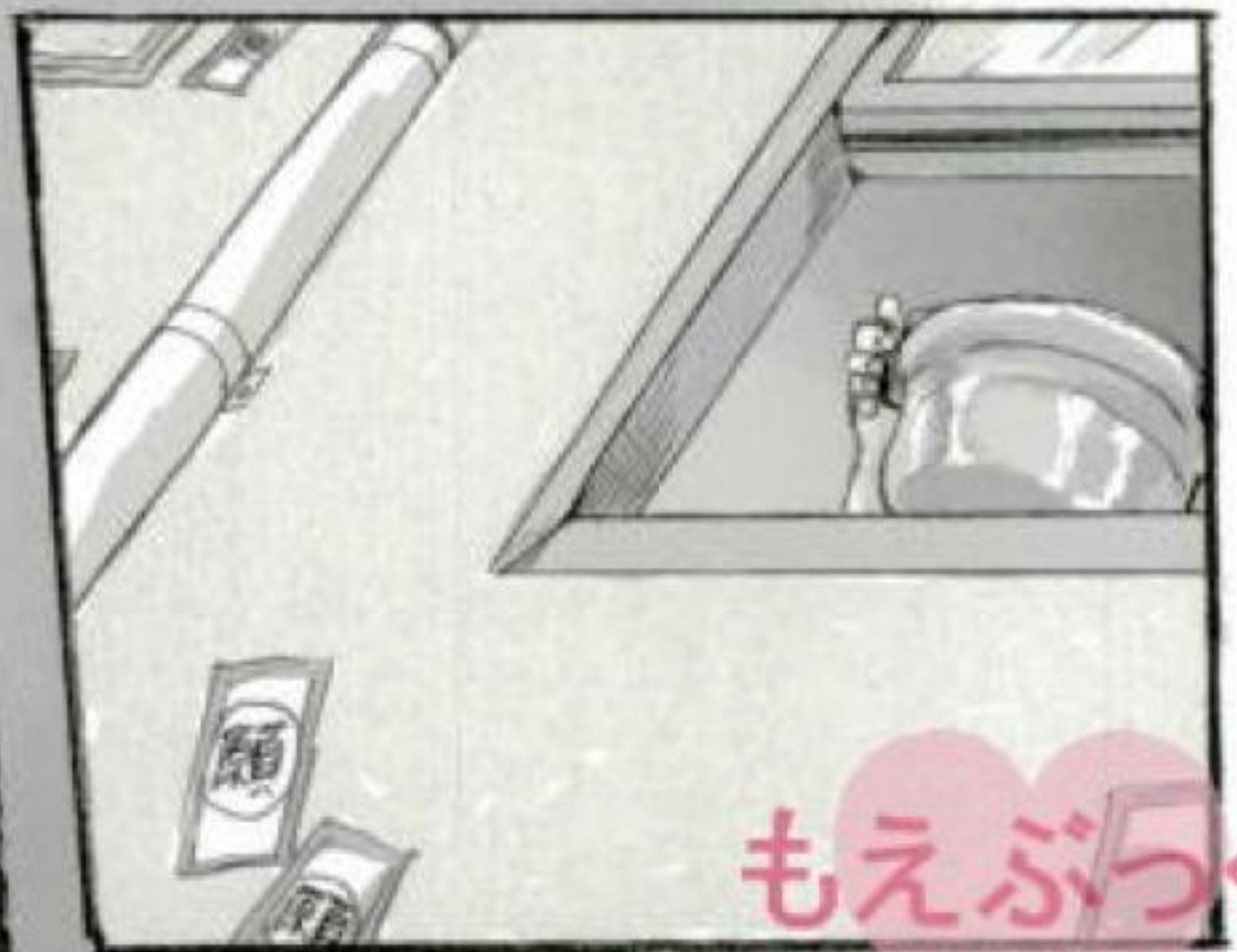
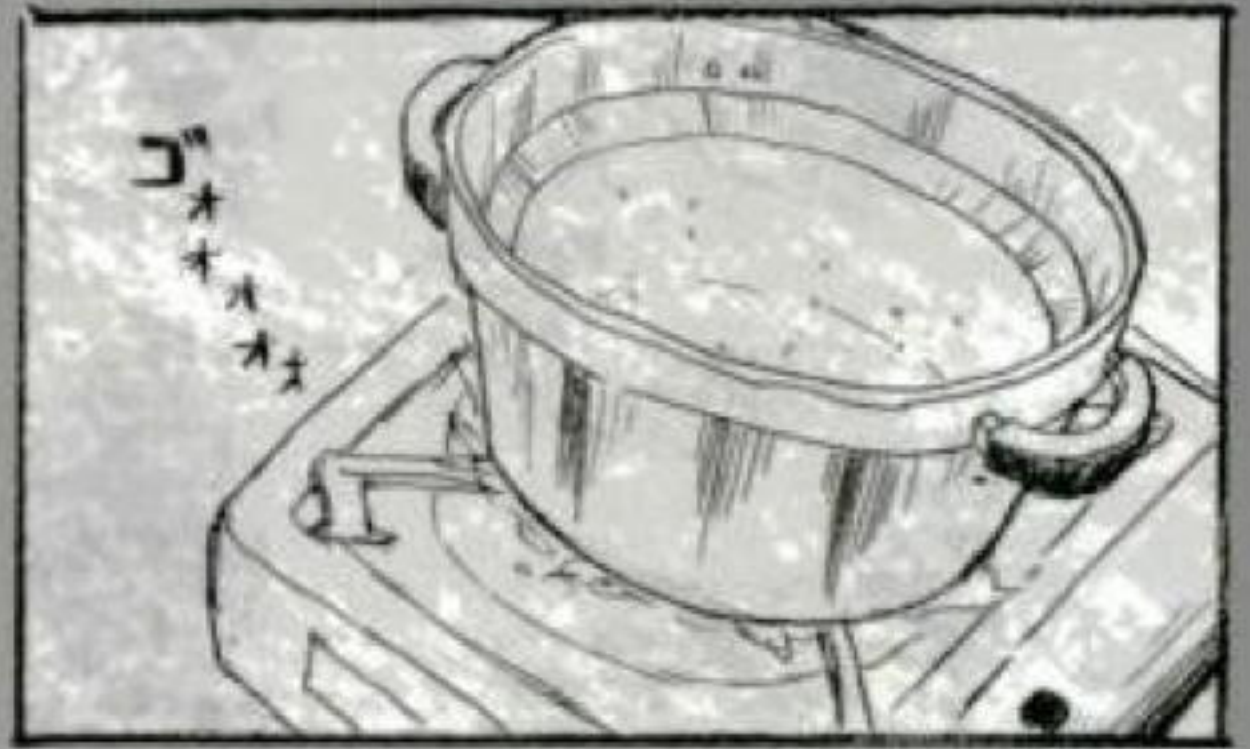




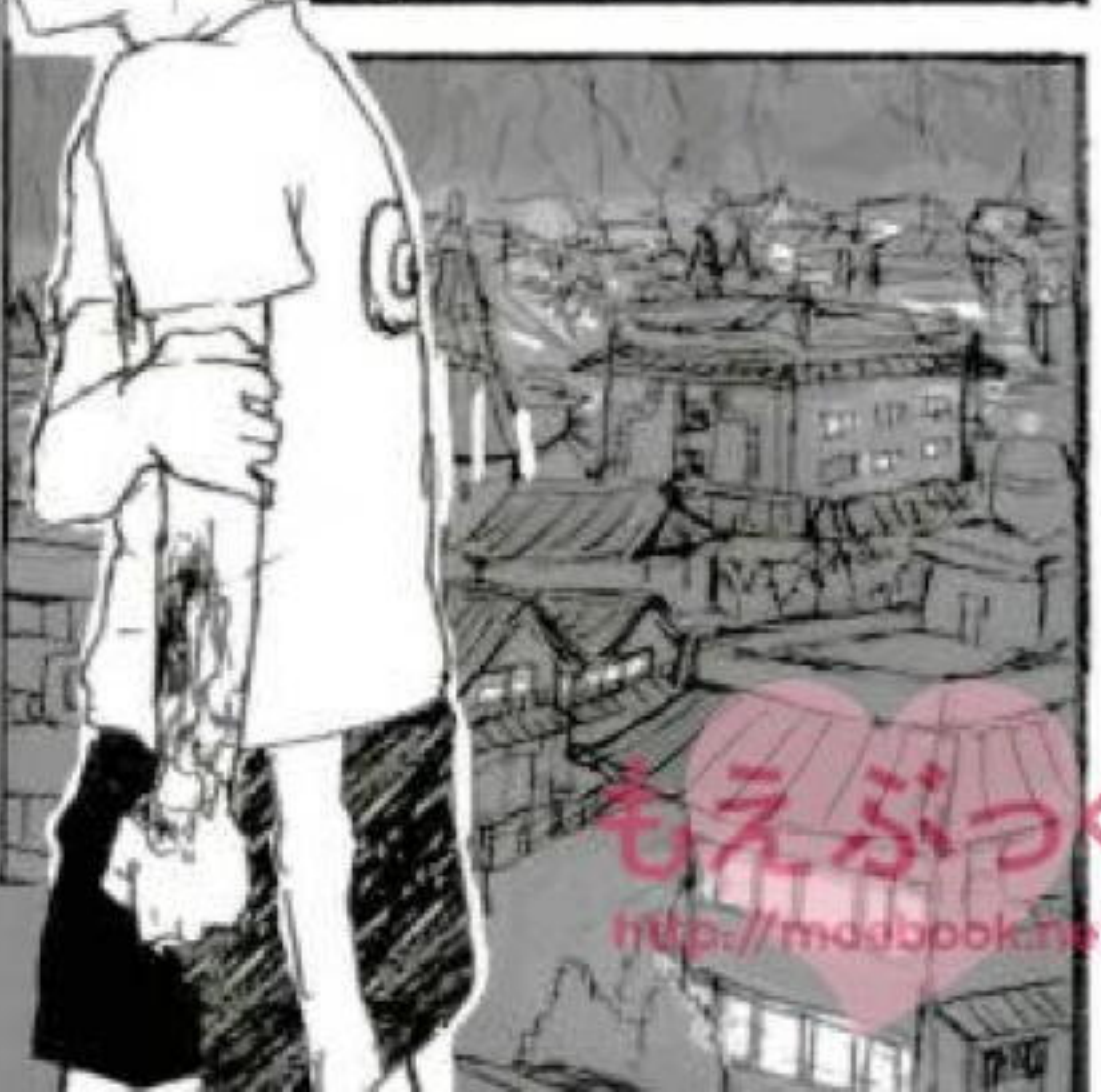
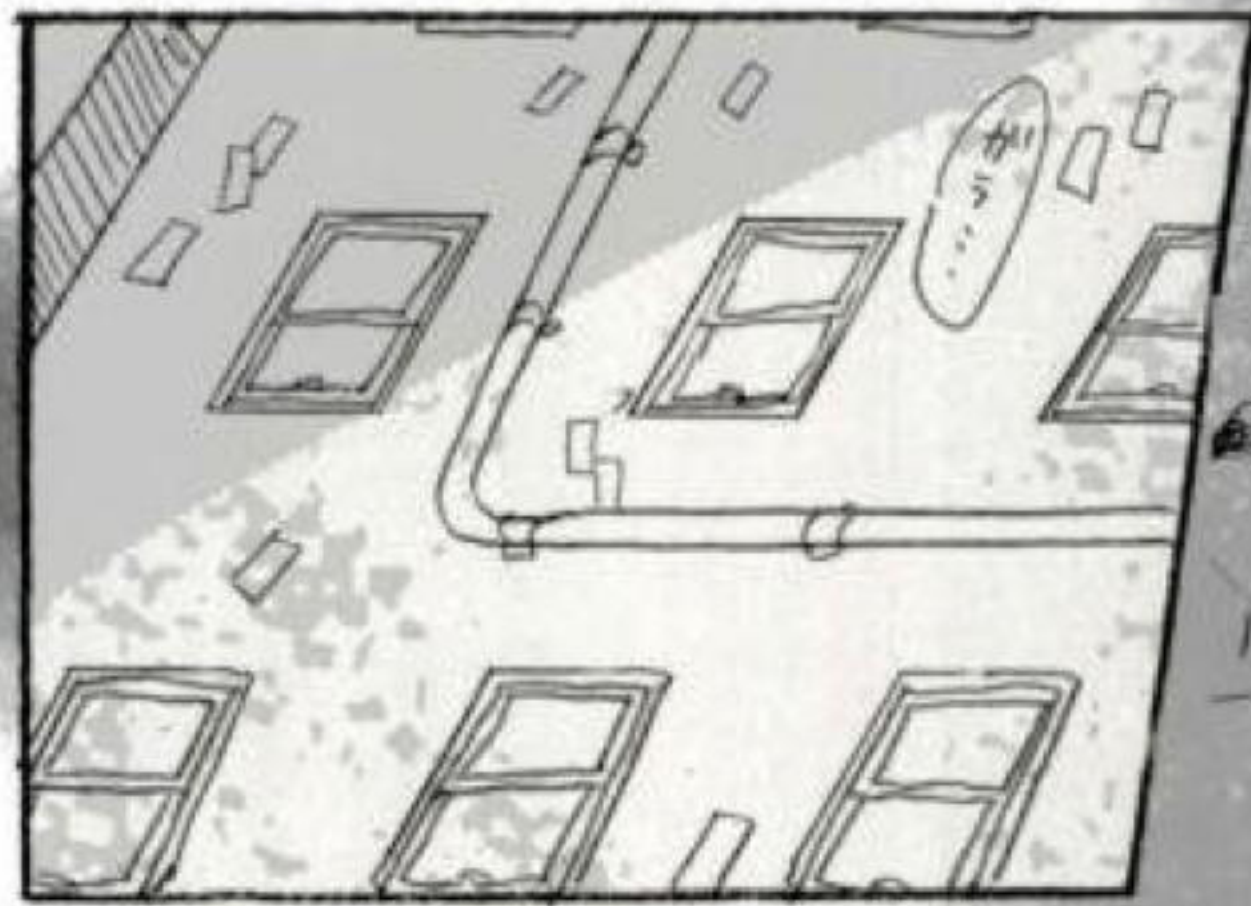
距離が足りなくて

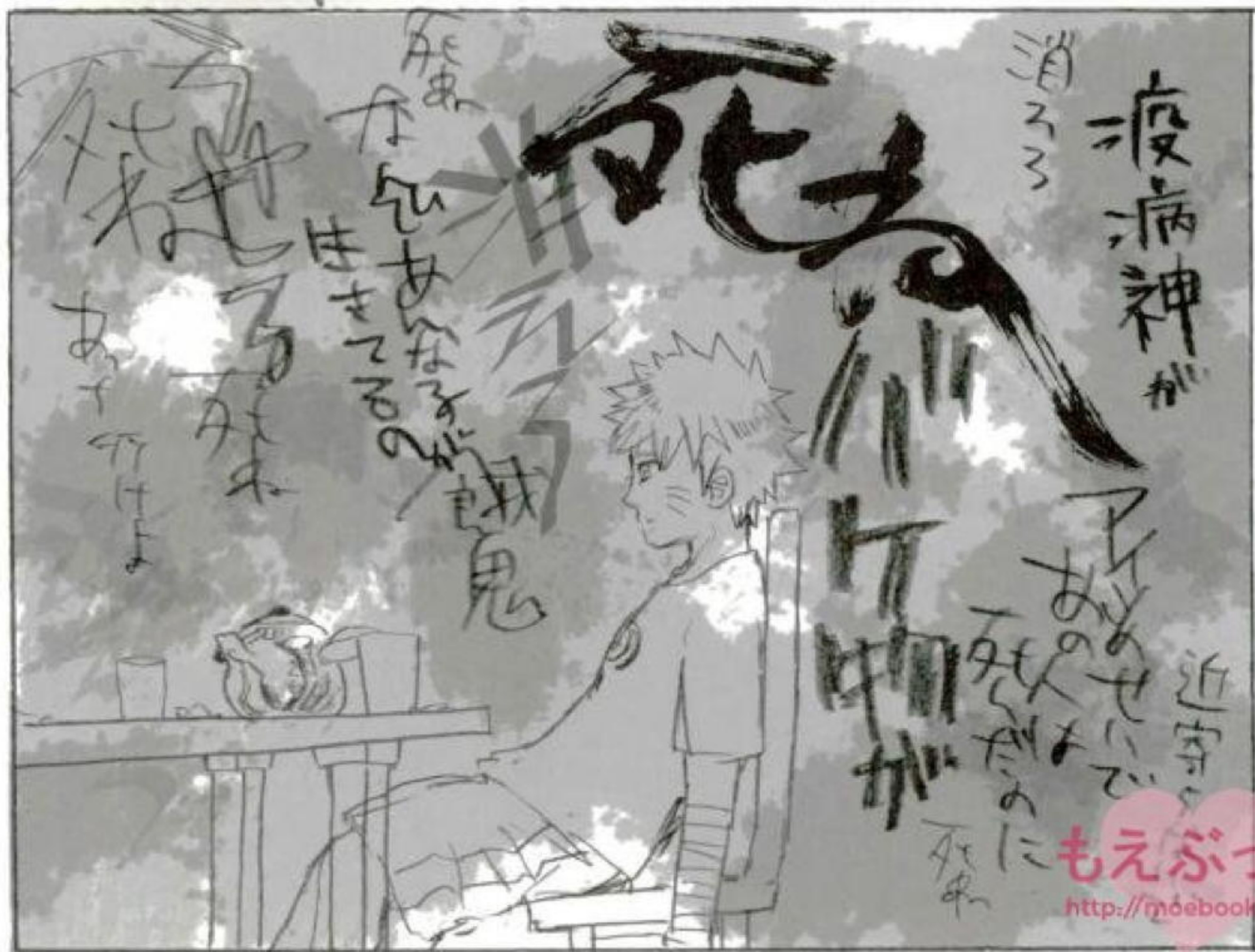
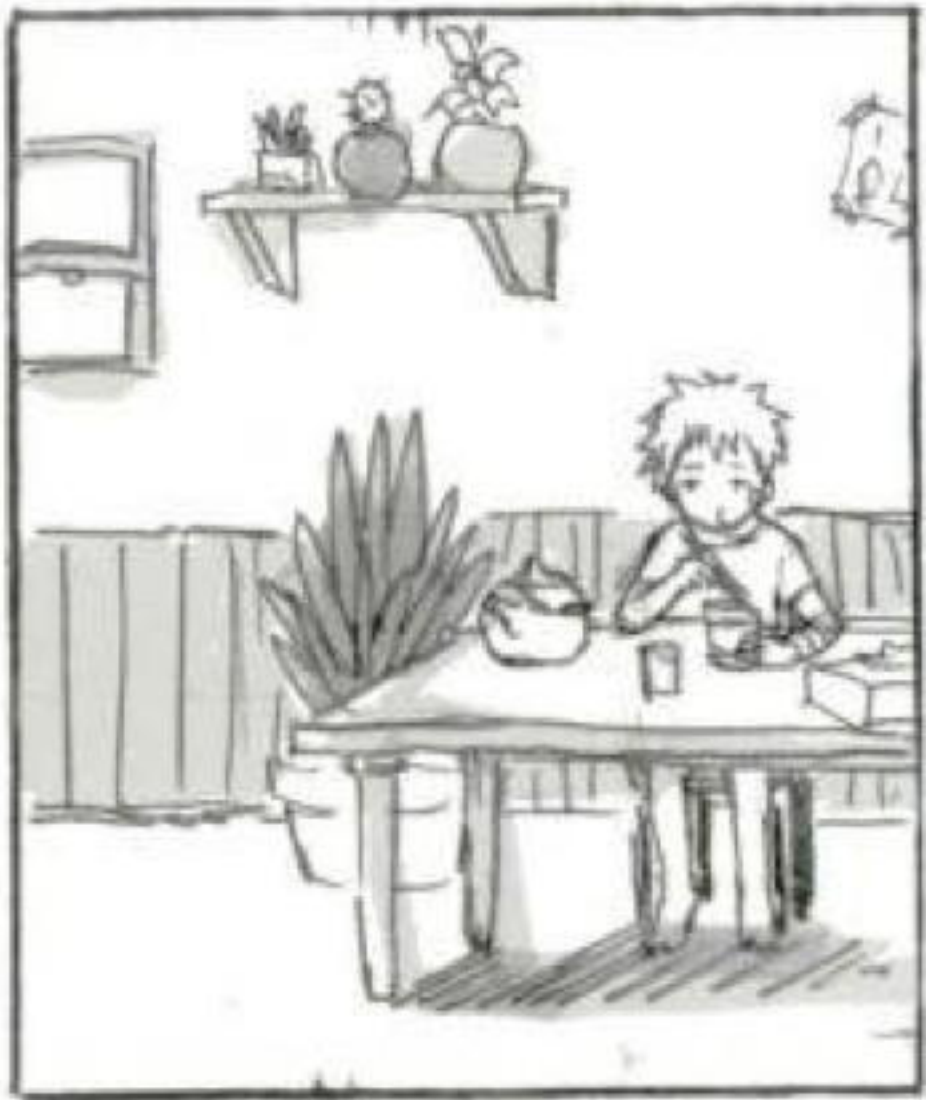
K18



もえぶつく

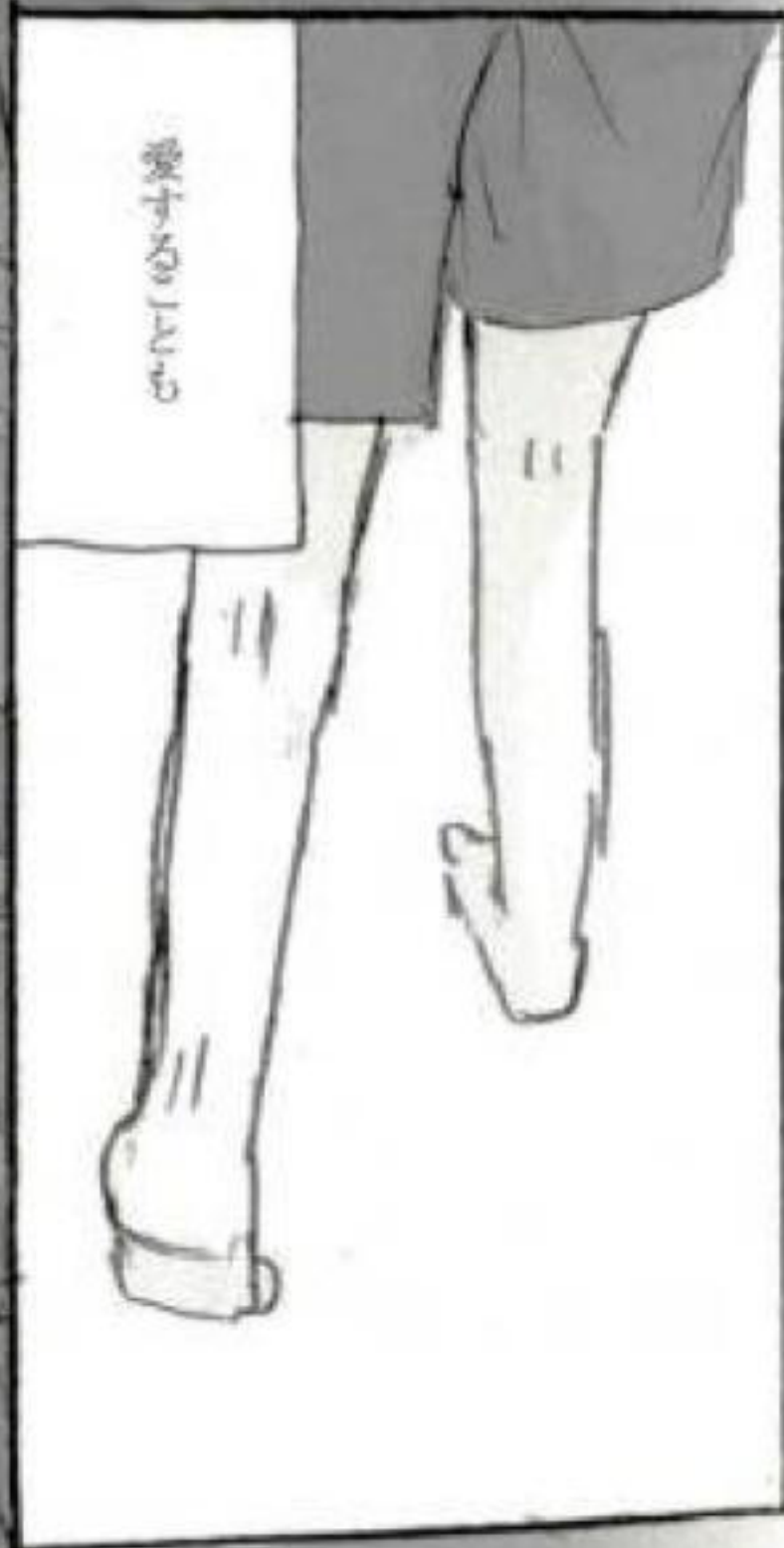
<http://moebook.net/>







わからぬよ、うーむ



わからぬよ、うーむ



知らない



わからない



オレはどうして
生きてるの？



生きてると

生きてると

早く死な

早く死な

痛くなくなりたい







キレイだな・・・



キレイ

やっほー・・・



はま

はま

死にたいんだよ

ああ
ああ
そうだよ!!!

よけいな事
すんなツツ...



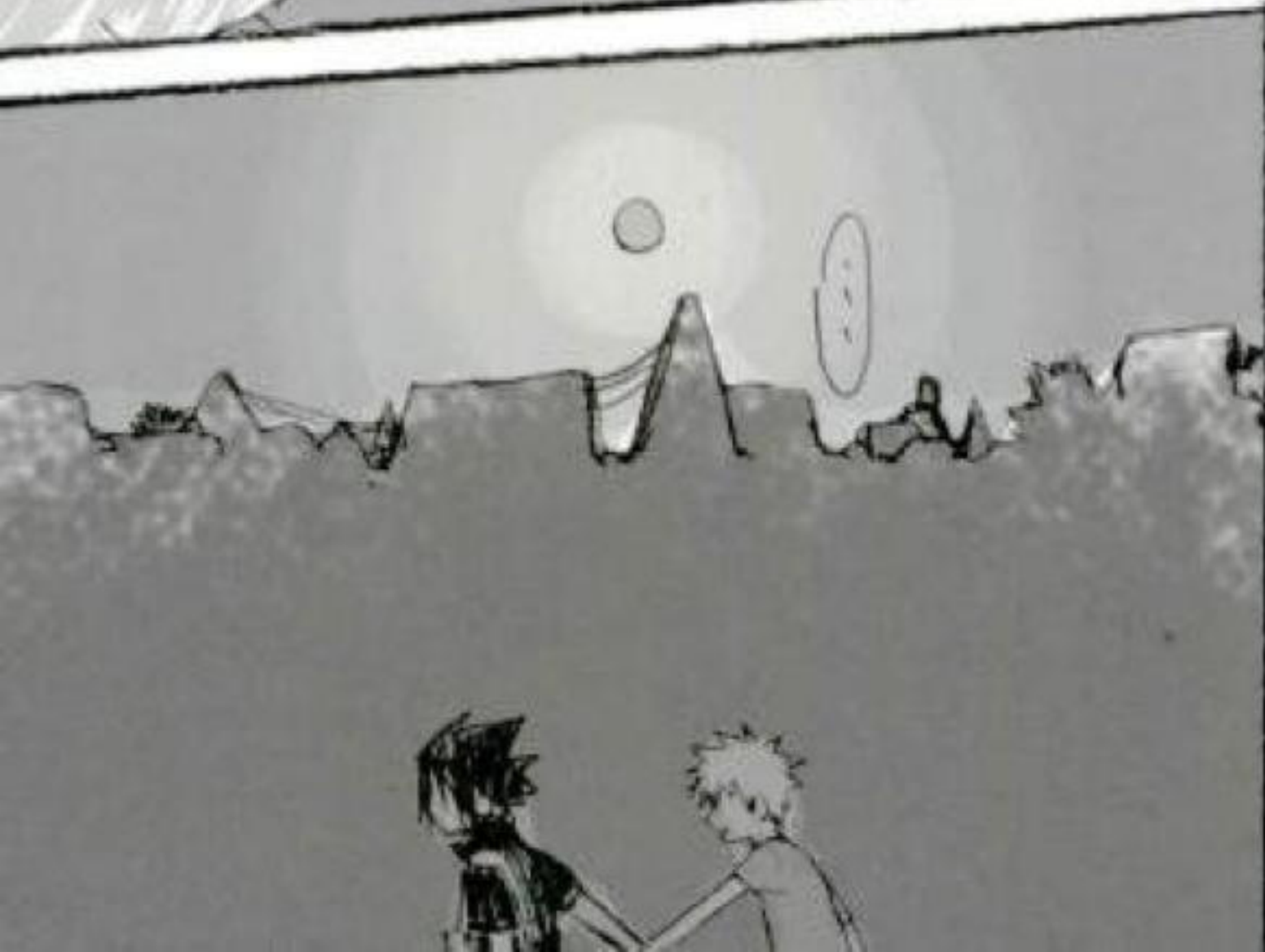
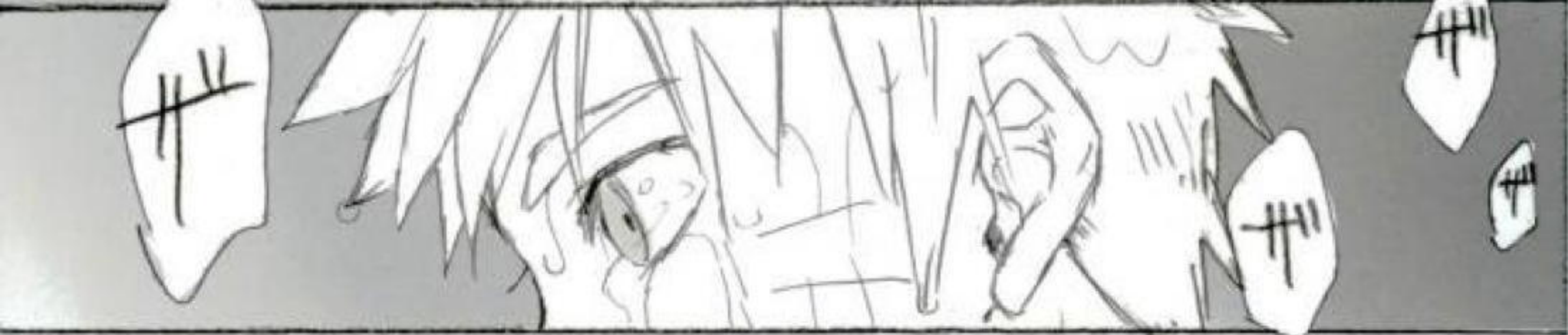
...ンバカ野郎っ



死にてえのか!!!?



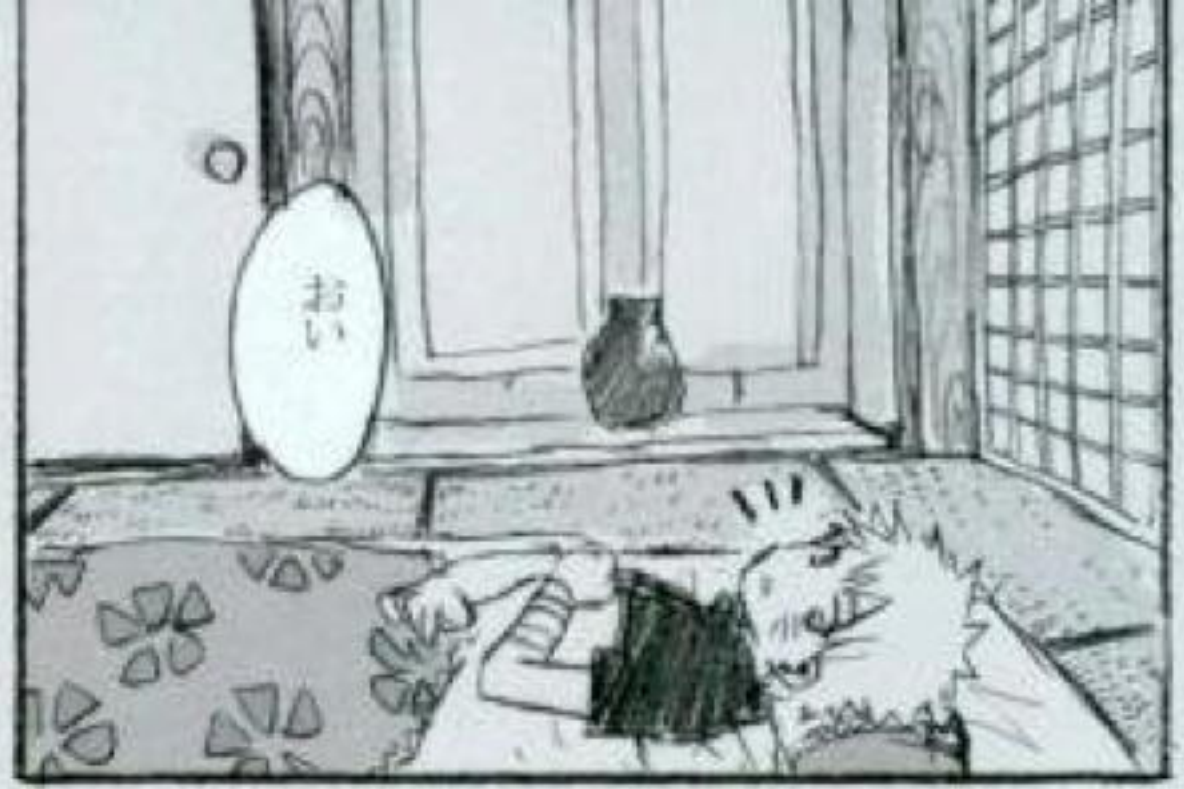
















サスケとは
はじめての出会いだった

サスケを知る度、
憧れや尊敬の念も
抱かざるを得なかった

ついでに
半蔵くんや
朋が、
あ、あ、あ



それなのにオレ達はどこまでも
食欲で、人肌を舐めたい……
地球が回って、今日が明日に
なると、朝には日が昇るのと
同じくらい自然に



サスケもオレも、互いに
感化されてくのがわかって
嬉しかった



オレにとってサスケは
誰よりも近しい存在に
なっていたし



ゼロ距離では足りない
関係になつていた



は

は



復讐に駆られ、燃るサスケにとつて、
オレの存在は「弱さ」そのものだ。後に言われ、
それでもオレたちは「唯一」の存在として
惹かれ合つて、いた。ことだけは分かつてた
その感情はオレの半生をコイツに費やすには
充分過ぎた。……







……しばらく、
助けようにはおえや

……おれは心の中、
なんも動かない……



……
体が……
動かぬ……!!






今度こそ
一人ではいかせねえから




一人ぼっちだったオレに
想われることも、想うことも
教えてくれたお前が



もう二度と、
孤独の闇に身を投じる
ことがないように...



ナルトに何をして
やれるのかしばらくは
到底思いつかなかった




返すにしては、
与えられた恩が
あまりにも大き過ぎた



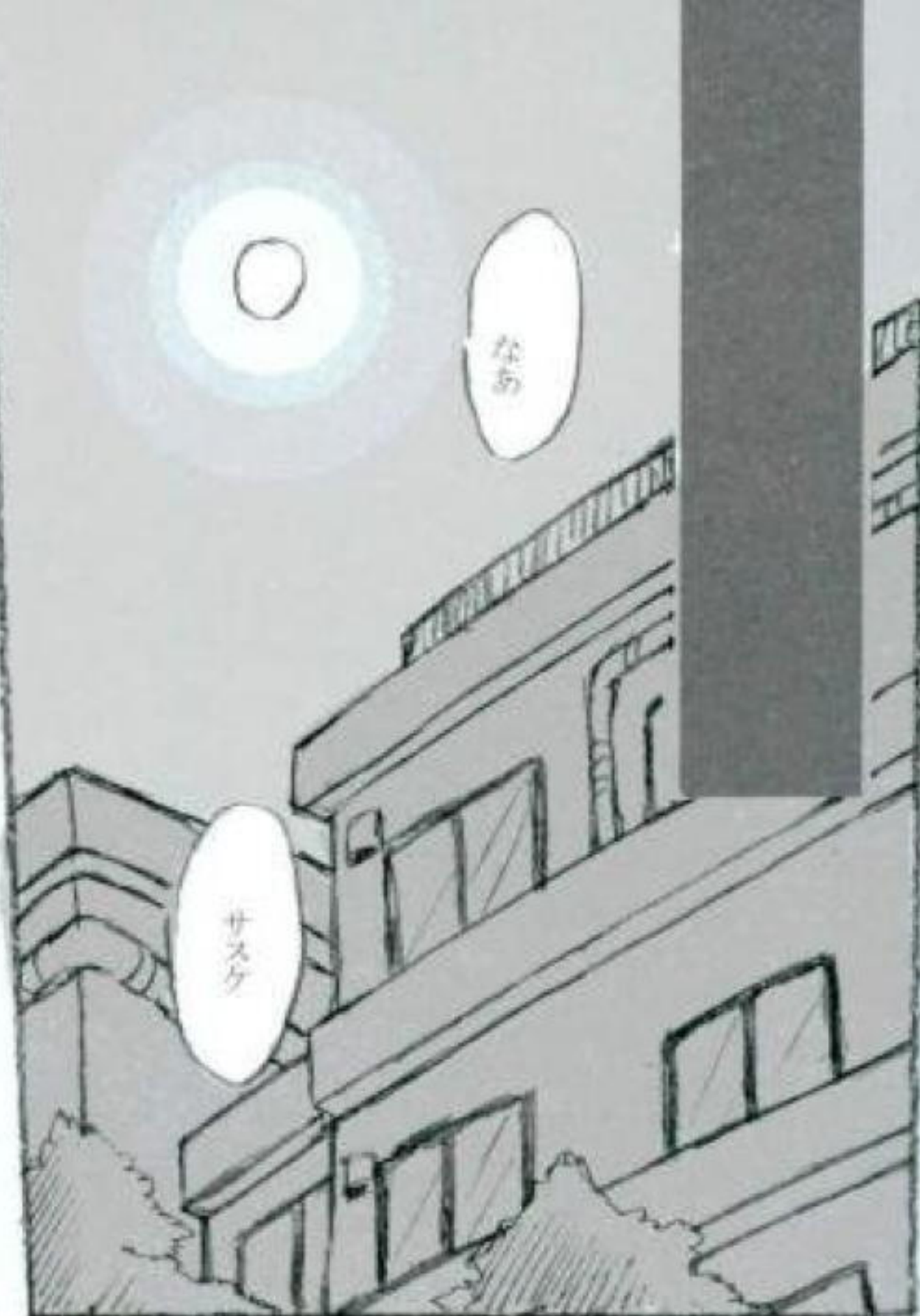
それでも、隣で
お前が笑うから



オレの残りの人生をかけて
ゆっくり返す決意をしていた



ハハハハ
折り返し
マサマサ
マサマサ







…なんの
つもりだ…



あの顔みたくは

…こんな顔じゃあなほ

見て分かんたろ？
誘つてんの



35









おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

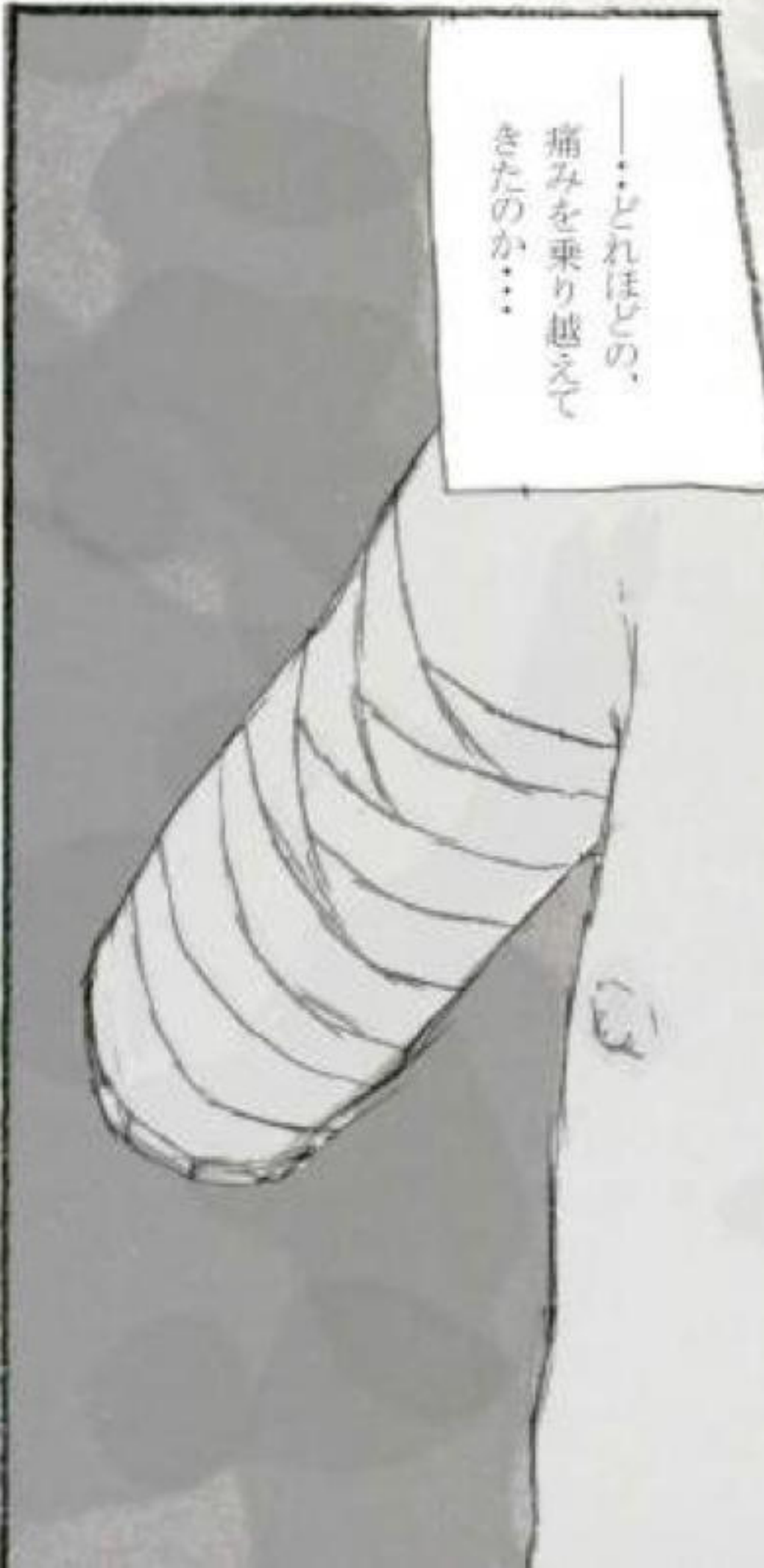
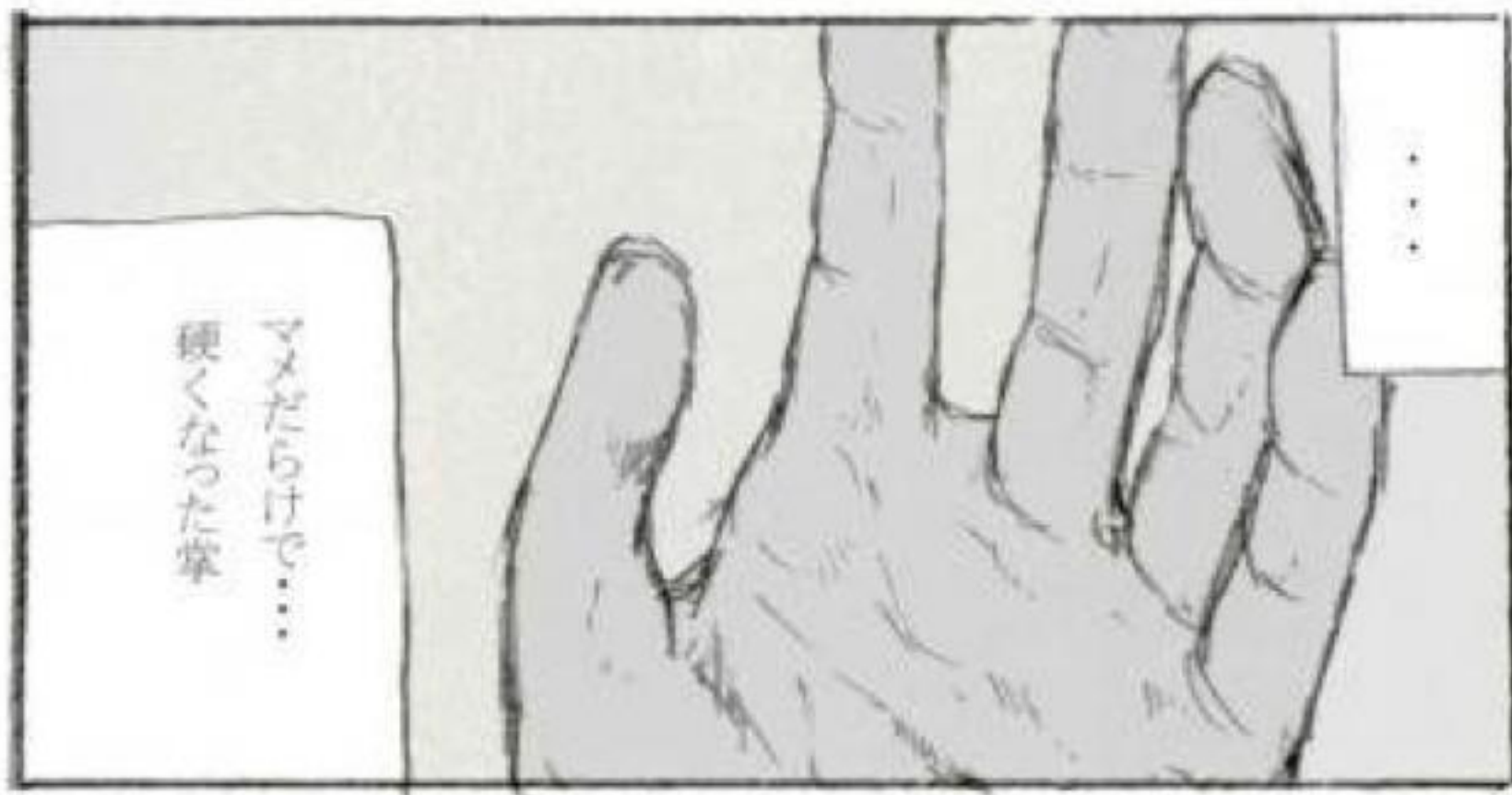
おはよう

おはよう

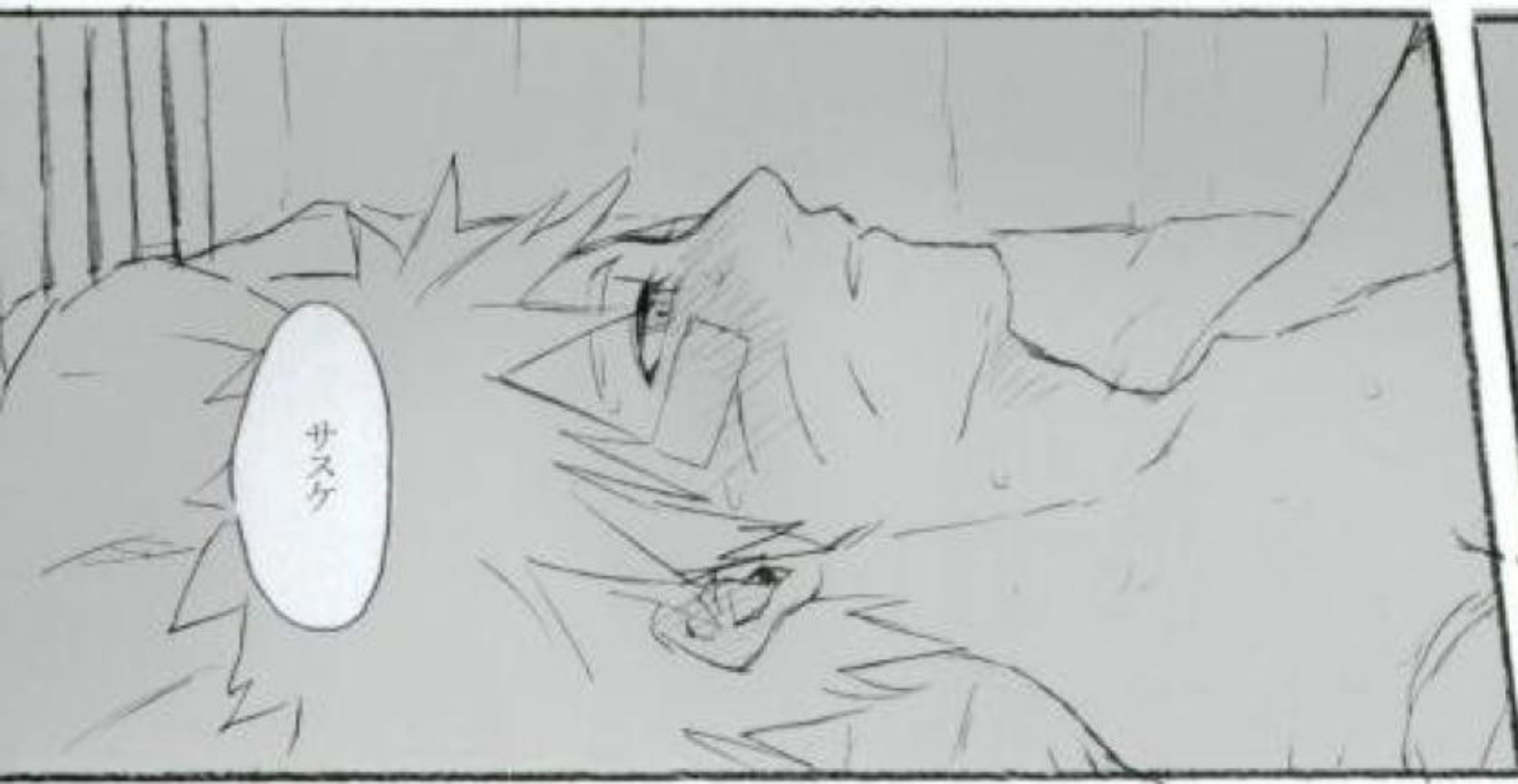
おはよう

おはよう

おはよう



俺を止める為に
コイツはどれほどの
努力と想いを積み
重ねてきたのか……

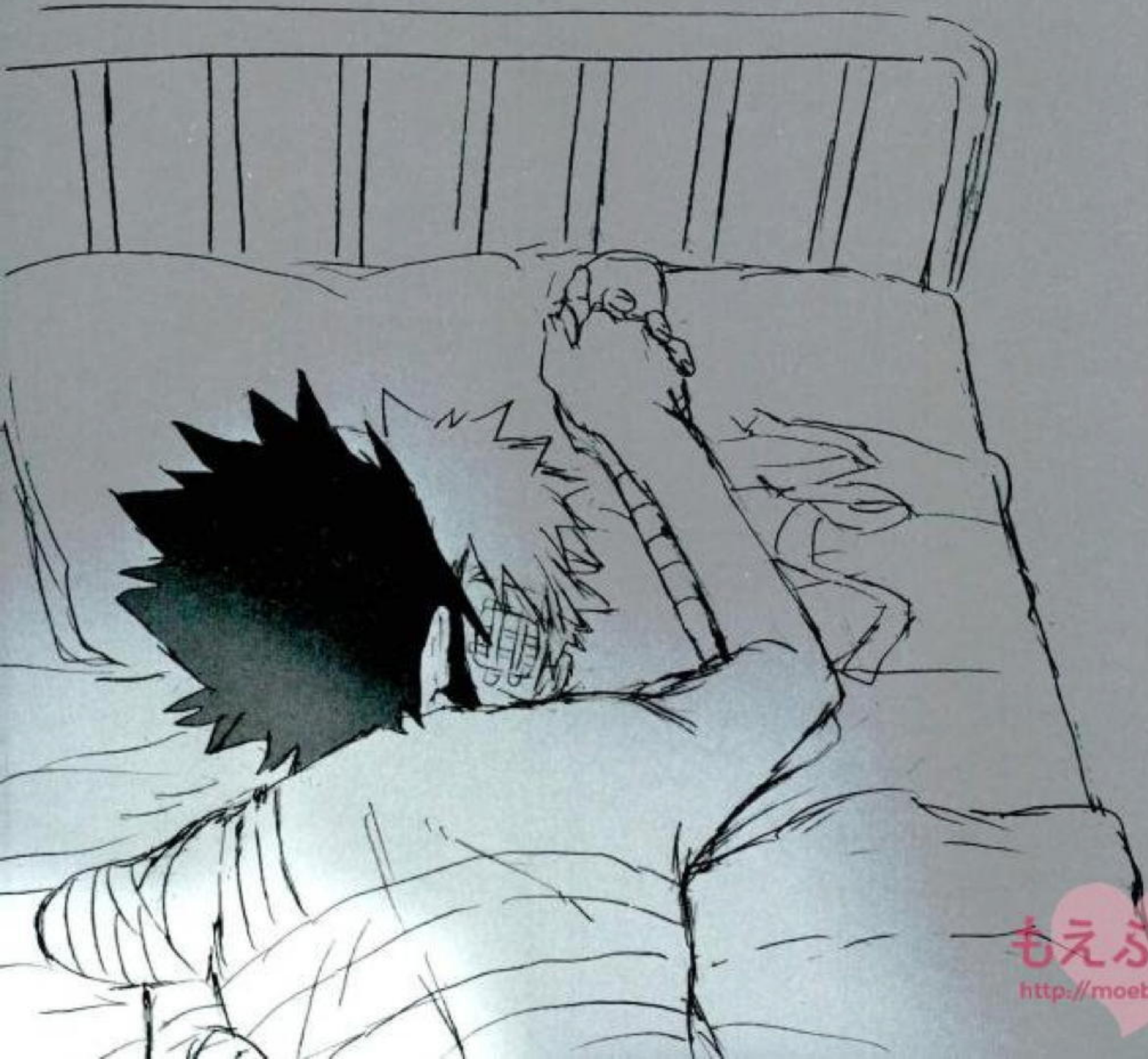


この世に存在する
どの言葉を用いても
足りそうにない



お前への感謝も
想いも……

……







NARUTO FAN BOOK
SASUKE X NARUTO
#2

R18

もえぶっく
<http://moebook.net/>